

平成19年度

第9回名古屋高速道路公社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成19年11月27日(火) 名古屋高速道路公社本社会議室	
委員	辻巻 真(委員長 弁護士)・小畑 誠(大学教授)・岡本 政廣(公認会計士、欠席)	
審議対象期間	平成19年4月1日～平成19年9月30日	
抽出案件(工事)	総件数 3件	
一般競争	2件	土木維持補修工事19-1
		県道高速名古屋新宝線東海IC工区鋼脚工事
指名競争	1件	舗装補修工事19-3
抽出案件 (建設コンサルタント業務等)	総件数 1件	
指名競争	1件	平成19年度鉄道等近接工事に係る施工検討業務委託
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	意見の具申又は勧告はなし。	
委員会からの要望	公社として、入札契約制度について総合評価落札方式、電子入札方式の拡大、反社会的な要求に対する愛知県警との合意書を締結し協力態勢をつくるなど努力を行ってきており、このような努力をこれからも更に研究しながら進めていただきたい。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等

1) 工事

一般競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
土木維持補修工事19 - 1	土木維持補修工事の具体的な内容と落札過程について聞きたい。	供用中の高速道路を常に良好な状態とするため、緊急補修や清掃、雪氷対策等の日常的維持業務です。なお、同工事は、一般競争入札の通常の手続に基づき行われました。
	緊急・応急・簡易補修及び雪氷対策と清掃業務とを切り離して発注した方が効率的ではないか。	緊急補修及び雪氷対策に必要な人員や車両は、通常の清掃時にも転用でき、その清掃中に簡易的な補修程度ならば同業者が迅速に対応できるため、現状方式が効率的と考えています。

一般競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
県道高速名古屋新宝線東海IC工区鋼脚工事	入札参加者が1社になった中で、請負率が高いが、手続は適正に行われたのか。	工程上、年度末発注となったため、配置可能な鋼脚施工経験のある監理技術者の数が少ないことや、当局による営業停止処分中で参加できる業者数が半減したことなどにより、結果として1社となりました。また、手続については、適正に行われました。 (予定価格事前公表)

指名競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
舗装補修工事19 - 3	同一件名の舗装補修工事19 - 1及び同工事19 - 2が、一般競争入札で、なにゆえ、舗装補修工事19 - 3が指名競争入札となったのか。	舗装補修工事19 - 1及び同工事19 - 2については、集中工事に関する発注の工事で、発注の金額も大きく、会社の規程により一般競争入札としました。 舗装補修工事19 - 3は、小牧・大高線の部分的な補修工事でありまして、発注の金額も小さく規程により、5社の指名競争入札としたものであります。

2) 建設コンサルタント業務等

指名競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
平成19年度鉄道等近接工事に係る施工検討業務委託	入札参加者が5社あるにもかかわらず、落札率が99.9%と高くなった経緯はなにか。	理由は分からないが、公社として入札は適正に執行しており、結果的にこのような落札率となりました。 (予定価格事前公表)